

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてメールにて返信くださるようお願いいたします。
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療課 メールアドレス hofukunet_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

★福島県感染症動向調査 週報★

(県内の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。)

！**県北地域情報**！(5月17日発表)

・咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の小流行が続いています。

☆インフルエンザについて☆

- ・県北地域のインフルエンザ患者報告数は少しずつ減少してきましたが、流行状態(小流行)は続いています。
- ・先月に比べて**インフルエンザB型の割合が多くなっています**。インフルエンザは、高熱、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。
- ・**今月も油断せずに、咳エチケット(マスク)や手洗い、うがいなどの感染予防対策を続けましょう。**



山や畑などの野外活動では、マダニに注意しましょう！！

マダニからの感染症には、「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「日本紅斑熱」、「ライム病」、「回帰熱」があります。

症状

ダニに刺されてからおおよそ1~2週間程度で、原因不明の発熱、紅斑、発疹、頭痛、筋肉痛、関節痛、倦怠感などの風邪類似症状、さらに放置すると、リンパ節腫脹、神経症状、出血症状などを引き起こします。いずれの疾患も、症状には個人差があり、ダニに刺されたことに気づいていなかったり、刺し口が見つからない場合も多くあります。重症化や死亡する場合がありますので、早めに医療機関に相談しましょう。受診時には、ダニに刺されたかもしれない日時、場所、2週間程度の発症前の行動を医療機関に伝えましょう。

感染経路

主な感染経路は、いずれもダニに刺されることにより起こる感染症です。

予防接種や治療方法

予防するためのワクチン等はありません。ダニに刺されないようにしましょう。治療は対症療法です。

！予防方法

野山や畑に行くときは**長袖、長ズボン**などできるだけ肌を露出しない服装で、虫よけスプレーを活用しましょう。草の上に直接座ったり、寝転んだりしないで、敷物を利用しましょう。脱いだ上着やタオルは、不用意に地面の上や草の上に置かないようにしましょう。帰宅後、すぐに入浴し、着替えましょう。

*なお、福島県内では、「つつが虫病」が多く見られますので、あわせて注意をお願いします。

梅毒について

《**2016年の梅毒の患者報告数の内、全体の約6割が20代から30代であり、なおかつ男性が(6割)多くなっています。**

比較的多いのは、いわき市、郡山市で、割合としては男性の方が多くなっていますが、3番目に多い県北地域は、女性の方が多くなっています。》

梅毒トレポネーマという菌が原因でおこる感染症です。

症状

初期には、感染がおきた部位(主に陰部、口唇部、口腔内、肛門等)にしこりができることがあります。治療をしないで3か月以上を経過すると、手のひら、足の裏、体全体にうっすらと赤い発疹が出ることがあります。数年後に複数の臓器障害につながるおそれがあります。

感染経路

感染部位と粘膜や皮膚の直接の接触により感染します。主に性行為による感染伝播です。

検査

血液検査(抗体検査)で判断します。医療機関で検査可能です。検査希望者は事前に医療機関に電話連絡をしてからの受検をおすすめします。

！予防方法

性行為の時は**コンドーム**を使用することで、リスクを減らすことができます。



6月1日~7日は

「**HIV検査普及期間**」です！！

県北保健所でも検査が可能です。(梅毒検査も実施しています。)(ご心配なことから3ヶ月以上経過してから検査可能です。)

第1~4月曜日 14:00~

完全予約制ですので、検査希望・相談のある方はご連絡下さい。

(参考)厚生労働省ホームページ※梅毒に関するQ&A

→ http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_jiryou/kenkou/kekkaqu-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

